

ふれあいカヌー体験 報告書

1 ねらい

自然の中でのカヌー体験を通して、自然の素晴らしさ・カヌーの楽しさを実感するとともに、親子がふれあう機会を作ることによって、子どもたちの豊かな心を育む。また、定期的を実施することで、当青少年交流の家の特色であるカヌーによる体験活動の普及を図る。

2 実施日

- 第1回： 7月5日（日） 荒天のため中止
 第2回： 7月20日（月・祝）
 第3回： 7月25日（土） ダム放流による肱川増水のため中止

3 日程

【午前の部】	10:30	開会行事	【午後の部】	13:30	開会行事
	11:00	カヌー体験		14:00	カヌー体験
	12:10	片付け・閉会行事		15:10	片付け・閉会行事

4 活動場所

肱川緑地公園（大洲城対岸）

5 参加対象・募集人数

小学3年生から6年生までの親子 先着各回 30名 程度

6 申込人数・参加者数

実施日		申込人数	参加者数
7月5日（日）	午前	17家族36名	
	午後	15家族33名	
7月20日（月・祝）	午前	17家族39名	14家族32名（大人14名・子ども18名） （3年生5名、4年生3名、5年生8名、6年生2名）
	午後	17家族37名	16家族34名（大人16名・子ども18名） （3年生6名、4年生8名、5年生2名、6年生2名）
7月25日（土）	午前	15家族33名	
	午後	13家族29名	
累計		94家族 207名	30家族66名（大人30名・子ども36名） （3年生11名、4年生11名、5年生10名、6年生4名）

7 活動内容

本事業は半日開催の3日間計6回の日帰り事業として計画をしたが、荒天及び河川のダム放流により、1・3回目は中止となり、7月20日のみの実施となった。開会行事では、国立大洲青少年交流の家次長よりあいさつがあり、その中で、大洲から「体験の風をおこそう」運動の趣旨や概要について説明があった。乗艇前に大洲市カヌー協会の方によるパドルの操作等カヌーの実技指導が行われた。参加者たちは、最初は戸惑いながらも徐々に慣れていき、カヌー操作も上達していった。各回とも終盤には参加者の表情から満足した様子が伺え、肱川でのカヌー体験を十分に楽しんだものと思われる。参加者の中からは、「初めてのカヌーで不安もあったが、楽しく活動できた。」「よいカヌー体験ができたので、来年度も参加したい。」「親子で一緒に楽しめ、触れ合うことができた。」といった感想が寄せられた。閉会行事では、カヌー協会の方より「楽しく充実したカヌー体験になった。今後も安全に気をつけて、水辺の活動を楽しんでもらいたい。」との講評があった。また、今後も多くの方に興味・関心を持っていただくために、この事業以外の「大洲から『体験の風をおこそう』運動推進事業」の紹介や、体験活動の普及・啓発を図るためのチラシ、グッズなどを配布した。

